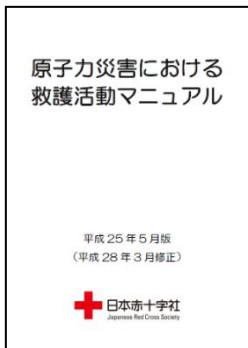


原子力災害における活動従事者の安全を確保するため、日赤では以下のことに取り組みました。



1. 救護活動マニュアルの作成

福島第一原発事故の際には原子力災害を想定した救護班の装備や安全基準を用意していなかったため、福島県内での救護活動に一時的な制約が生じました。このため、将来の原子力災害に備え、救護活動中の安全を確保していくための活動指針や行動基準などを定めた「[原子力災害における救護活動マニュアル](#)」を作成しました。

本マニュアルの中では、(1) 救護活動は警戒区域外で実施する、(2) 救護活動中の累積被ばく線量は1ミリシーベルトを超えないこととする、(3) 放射線下での救護活動を安全適切に行うため緊急被ばく医療アドバイザーを配置する、(4) 救護班要員に対する放射線防護の教育・研修を行う、ことなどが記述されています。

2. 活動従事者の放射線防護に関する資機材の整備

原子力災害発生時に、放射線下で活動を行う可能性のある活動従事者の安全を確保するため、放射線防護に関する資機材の整備を行いました。

整備したのは、(1) デジタル個人線量計(活動従事者の被ばく線量を測定)、(2) 電離箱式サーベイメータ(活動地域の空間線量率を測定)、(3) GMサーベイメータ(体の表面の汚染を測定)、(4) 放射線防護服セット(放射性物質の体内への侵入を防止)です。

本社および全国のブロック・支部に配備しました。

本社・日赤医療センター

デジタル個人線量計	66個
電離箱式サーベイメータ	3個
GMサーベイメータ	3個
放射線防護服	531セット

第4ブロック支部

デジタル個人線量計	273個
電離箱式サーベイメータ	6個
GMサーベイメータ	1個
放射線防護服	273セット

第1ブロック支部

デジタル個人線量計	310個
電離箱式サーベイメータ	7個
GMサーベイメータ	2個
放射線防護服	310セット

第5ブロック支部

デジタル個人線量計	322個
電離箱式サーベイメータ	9個
GMサーベイメータ	1個
放射線防護服	322セット

第2ブロック支部

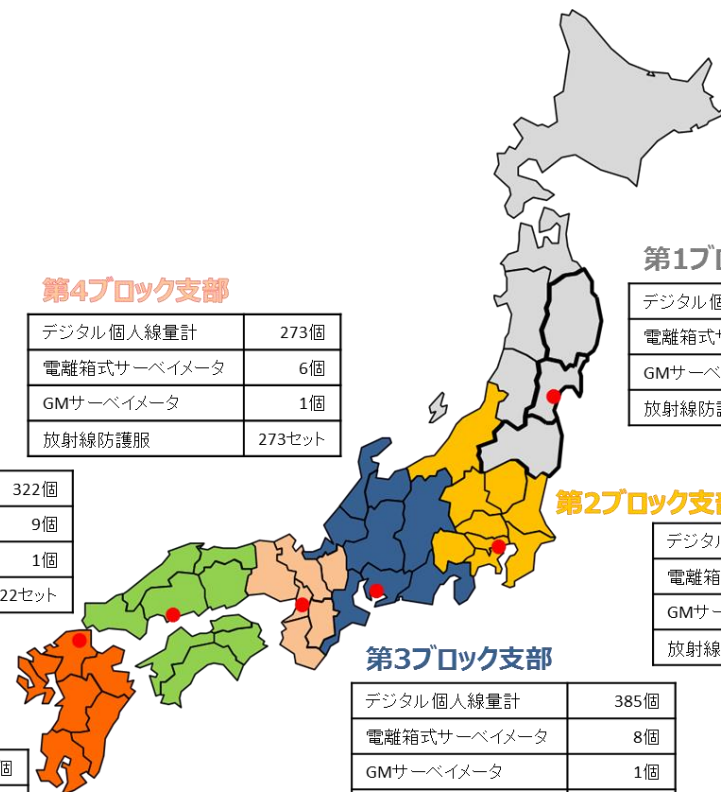
デジタル個人線量計	476個
電離箱式サーベイメータ	9個
GMサーベイメータ	1個
放射線防護服	476セット

第3ブロック支部

デジタル個人線量計	385個
電離箱式サーベイメータ	8個
GMサーベイメータ	1個
放射線防護服	385セット

第6ブロック支部

デジタル個人線量計	203個
電離箱式サーベイメータ	8個
GMサーベイメータ	1個
放射線防護服	203セット



● ブロック代表支部